

学校 通信 3-10	 かけはし	教育目標 <input type="radio"/> 学び合う子 <input type="radio"/> つながり、 支え合う子 <input type="radio"/> たくましい子	武蔵村山市立 第九小学校 令和4年2月1日
------------------	--	---	-----------------------------



日本を知る「国際理解」教育

副校長

1月28日（金）に第17回全国小学校英語教育実践研究会東京大会の会場として武蔵村山市立第九小学校が研究発表会を行いました。この大会は、本校の教職員が小学校の英語教育について研究してきたことを他校の先生たちに発表をする会です。名前の通り、全国から申し込みを受ける会です。事前に近くでは神奈川県や石川県、遠くでは高知県や熊本県から参加希望があり、当日は九小へ来ていただき発表を見てもらうはずでした。ところが、ここへ来ての新型コロナウイルスの感染拡大を受け、都外からの参加者はお断りすることとなり、参加者も少なくなっていました。しかし、少なくとも参加していただいた方には、本校の研究を見ていただくことができました。

さて、「英語教育」というのは今の教育のトレンドのうちの一つと思いますが、「英語教育」を行う中で、必ず出てくるテーマが「国際理解」です。いろいろな国の文化を理解することが思い浮かべられますが、相手のことを知るその前に自分の国の文化を改めて知ること大事と私は思います。

12月に本校の5年生の子供たちが、台湾の小学校とビデオチャットにて交流を行いました。お互いにクラスの中でグループを作り、内容を決めて発表する形式で交流しました。子供たちが選んだテーマは、「食文化」「観光地」などについてです。お互いの国・地域で特徴のあるものの紹介をしていました。注目するのは、「伝統文化」についてです。本校からは、独楽回し、羽根

つきなどを紹介していました。台湾の子供たちも、台湾の正月の迎え方など紹介をしていました。今月は、4年生が横田基地の中の小学校とやはりビデオチャットでの交流を予定しています。4年生もそのような交流をするのでしょうか。改めて日本の文化を振り返ることも大事な「国際理解」の学習であると考えます。

暦が2月になりましたが、この時期の日本の「伝統文化」として思い出されるのは、「節分」ではないでしょうか。「節分」には、豆まきをし、恵方巻きを食べる、これは、だれもが知っていることです。例えばもし、外国の方と交流する機会があり、「今日は、節分です。豆まきをしたり、恵方巻きを食べたりするんですよ。」と話をしたら、きっと「何で豆をまくの？ 何で恵方巻きは食べる方角が決まっているの？」といった質問が来ることが予想されます。この質問に詳しく答えることができる人は、あまり多くないと思います。私も自信はありません。日本に住んでいて当たり前で済んでいることは、結構、あると思います。そういったことを踏まえ、日本の伝統文化について詳しく調べてみることも大事な「国際理解」学習となるのではないのでしょうか。

もし、よろしければ、お子さんと一緒に調べてみてはいかがでしょうか。大人でも「へえ、そうだったんだ。」ということもあると思います。いろいろな学年で行っている自学自習において、調べ学習の一貫として取り組んでみてはいかがでしょうか。私も調べてみたいと思います。